



総領事館便り8月号

★第17回スラバヤよさこい祭りの実施（報告）

7月20日（土）、トゥンジュガン通りスラバヤ博物館前において、在スラバヤ総領事館、スラバヤ市、高知市の共催で、「第17回スラバヤよさこい祭り」が開催されました。本年は「スラバヤ・クロスカルチャー・フェスティバル2019」の前夜祭との位置づけで実施され、非常に多くの観客の方にお越しいただきました。

第17回スラバヤよさこい祭りは、約100名の子供たちによる東ジャワの伝統舞踊であるレモ踊りのパフォーマンスで開幕、開会式にはリスマ・スラバヤ市長も参加されました。来賓挨拶において、谷総領事は、よさこい祭りがスラバヤ市民の心に深く浸透しており、インドネシアの若い世代が高知や日本の文化に関心を抱いてくれることは喜ばしいと述べました。リスマ・スラバヤ市長からは、高知市とスラバヤ市の姉妹都市関係に言及した上で、レベルの高いパフォーマンスを楽しみにしているとの言葉がありました。

よさこい踊りのコンテストでは、子供の部13チーム及び日系企業PT. JAIからのチーム（JAI Yosakoi Odori）を含む大人の部13チームの計26チーム、約600人の踊り子が、意匠を凝らした色鮮やかな衣装をまとい、よさこい踊りの曲に合わせてオリジナリティ溢れる踊りを披露しました。沿道には観客が溢れ、応援と歓声で大きな盛り上がりを見せました。総合優勝を勝ち取ったのは、Candhik Ayu Cチーム（大人の部）。JAI Yosakoi Odori チームも優秀舞踊賞（大人の部）を受賞されました。

この場をお借りして、審査員として参加いただいた皆様、また会場に足を運んでくださった皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。



開会式におけるリスマ市長と総領事
(Humas Pemerintah Kota Surabaya 提供)



優勝した Candhik Ayu C チーム



夕方に行われた子供の部の様子



優秀舞踊賞（大人の部）を受賞した
JAI Yosakoi Odori チーム

★平成29年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「東ジャワ州シトゥボンド県における出産施設整備計画」完成式典の実施（報告）

7月31日（水）、日本政府が平成29年度の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の枠組みで支援した「東ジャワ州シトゥボンド県における出産施設整備計画」の完成式典が行われました。

本事業では、シトゥボンド県スンブルマラン郡の山岳地帯にある保健所に新たに出産施設を建設し、保育器や酸素ボンベ等の医療機材が整備された他、母子保健活動を行う保健ボランティアに対する研修も実施されました。

完成式典には、ダダン・ウィギアルト・シトゥボンド県知事や同県保健局の代表らが出席し、ダダン県知事は、「素晴らしい出産施設ができたことを誇りに思う。有効活用していくとともに、県内の他の保健所や出産施設のモデルとしていきたい」と期待を述べました。谷総領事から、「本事業により、保健サービスの質が向上し、さらに妊産婦・乳児死亡率の低下に繋がることを願う」と話しました。

これまで同保健所では、妊婦は救急救命用の施設で出産していましたが、今回出産専用の施設ができたことで、妊婦及び新生児にとってより衛生的で安全な環境が整備されました。



記念碑への署名



シトゥボンド県知事他との集合写真



新たに建設した出産施設



日本の協力であることが分かります



供与された医療機材

★第48回日本語弁論大会全国大会においてノフィさんが準優勝されました！

7月20日（土）、ジャカルタで開催された第48回日本語弁論大会全国大会（国際交流基金、元日本留学生協会（プルサダ）、研究技術・高等教育省共催）において、東ジャワ地区代表として参加したノフィ・プルワンティさんが、見事、準優勝を勝ち取りました！東ジャワ地区代表は例年全国大会でも好成績を収めていますが、今年も東ジャワ地区のレベルの高さを見せつけた形となりました。ノフィさんは国際交流基金の招へいで10月に日本を訪れる予定です。

（了）